

令和8年度 第1回 大阪府立農芸高等学校 学校運営協議会 議事録

1. 開催概要

日 時：令和8年7月10日（金） 15:00～17:00

場 所：大阪府立農芸高等学校

参 加 者

委 員：三山 純代（PTA 会長）、岡崎 宏樹（大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校校長）
仁義 修（同窓会会長）、片山 貴美子（帝塚山学院大学大学院教授）、
松本 純也（株式会社 IKIpuro）

（欠席：佐古田 英樹（さつき野学園長）、小川 靖子（美原区長））

選出事項：会長に岡崎委員、副会長に仁義委員を選出

職 員：校長 浦、教頭 及川、事務長 大前、首席 樽井・井上・烏谷、生活指導部長 山本詩、
教務 平井、保健 稲葉、総務 河合、A 科 葉山、P 科 中山、Z 科 吉田文
（欠席：教頭 及川）

2. 審議事項および報告内容

2.1 令和8年度 学校経営計画及び学校評価(校長 浦より説明)

昨年度の取組と自己評価について報告

めざす学校像：農業教育のポテンシャルを最大限に活かした「感動とトキメキの学園」を標榜。

自己評価の概要：

強 み：生徒・保護者の信頼が厚く、特に「実習・体験活動」への満足度（93.6%）や友人関係の
良好さ（94.0%）が非常に高い。

学習面：英語の習熟度別授業の満足度が 91.2%と目標を達成。

進 路：就職内定率 100%を維持。国公立大学（11 名）を含む農業・食品関連学部への進学者も堅
調

課 題：座学の「わかる授業」への満足度（72.0%）において、教員自己評価（98.0%）と保護者評
価の間に乖離が見られる。また、2 年生の満足度が一時的に低下する傾向があり、再活性
化が必要

2.2 令和8年度 学校経営計画(校長 浦より説明)

本年度の重点目標として、以下の柱が示された

1. 確かな学力の育成と進路保障（ICT 活用の推進、英語力の強化）。
2. 「地域創生ジェネラリスト」の育成（農業クラブ活動の活性化、農芸高校ブランドの創出）。
3. 規律・規範の確立と豊かな心の育成。
4. 長時間労働の防止と組織的な学校運営（働き方改革の継続）。

2.3 令和9年度 使用教科書の選定(教務 平井より説明)

教務部より、次々年度（令和9年度）に使用する教科書の選定理由が報告され、承認された

選定方針：生徒の理解度、生活との関連性、自発的な学習のしやすさを重視

主な採用理由：

国語：実社会と関連付けた学習や論理的思考力の育成に適した教材を選定

農業：図版や写真が豊富で、最新の技術（バイオテクノロジー、農業 DX 等）に対応した実務的な教科書を重視

2.4 教育改革促進事業（N-E. X. T. ハイスクール構想）

本校が拠点校として採択された大規模プロジェクトについて説明

目的：デジタル技術を活用して都市型・環境配慮型農業を実践する次世代農業人材の育成。AI・IoT を活用した「ネクストハイスクール事業拠点」の形成。生産から販売までを横断的に学ぶ教育を推進

予算規模：総額約 17 億円

具体策：完全環境制御型植物工場の整備、デジタル食品実験センターの設置、自動搾乳機・生体センサーを導入したスマート畜産、工業・商業高校と連携した分野横断型授業の展開。

3. 委員による主な意見と重要な引用

3.1 農業教育と地域連携について

（松本委員）

「農芸高校は美原にとって非常に重要な資源・資産。地域住民にとっても卒業生が多く、愛着が強い。N-E. X. T. 事業を通じて地域リソースと連携を加速させることで、実践的な人材育成を強化してほしい。」

（岡崎委員）

「農業大学校では Instagram で毎日発信を続けている。アウトプットの質を上げ、誰がどれだけ発信したかを意識することが重要。」

3.2 次世代農業（アグリ DX）への期待

（松本委員）

「都市型農業の定義として、小規模でも高収益な均衡農業の形は重要。AI ロボットや自動収穫、IoT を活用した『将来の夢』を含めた展開を期待する。」（岡崎委員）「ハード面だけでなく、ソフト面（カリキュラム）の充実が不可欠。SPH 事業の成果であるポートフォリオ等を活用し、生徒の学びを可視化し続けてほしい。」

3.3 生徒支援と学校運営への提言

（三山委員）

「台風などの警報時の登校判断について、遠方から通う生徒も多いため、より早く明確な判断・周知をお願いしたい。」

（片山委員）

「保護者の過度な要求や、急激な問題行動の深刻化を感じる。スクールカウンセラー等の専門知見を活用し、家庭背景まで含めた理解と組織的対応を共に行っていききたい。」

3.4 野生動物被害と防犯対策（農場部より報告）

農場内での野生動物（アライグマ、ヌートリア等）による食害が深刻化しており、家畜伝染病（豚熱、鳥インフルエンザ等）の防疫上のリスクが高まっている。

現状：トウモロコシが全滅する等の被害が発生

対応：堺市への包括的な実務支援（捕獲許可、処分等）を要請。校内では防疫ルートの特定や消毒の徹底を継続

4. 特記事項

生成 AI 利用ガイドライン

生徒の「考える力」を養うための生成 AI 利用ルールを提示

利用ツール：Google Gemini, NotebookLM, Canva（ChatGPT は個人端末での使用禁止）。

利用ルール：「丸写し」の禁止、AI 使用箇所の明記、個人情報の入力禁止

授業見学について

学校運営協議会委員向けの授業見学を検討中

5. 今後の予定

アグリフェス：令和8年7月25日（土）開催（美原文化会館等）

第2回 学校運営協議会：令和8年12月11日（金）15:00～（教育活動の中間報告など）

第3回 学校運営協議会：令和9年2月19日（金）15:00～（年間の教育活動の総括）